

# 東海大学チャレンジセンター



学部・学科を超えた挑戦。

## チャレンジプロジェクト & ユニークプロジェクト

2018紹介マガジン

### 東海大学チャレンジセンター

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 [湘南キャンパス 8号館 2階]  
 Tel : 0463-50-2504 (直) Mail : challenge@tsu.u-tokai.ac.jp  
 Fax : 0463-50-2472 URL : <http://www.u-tokai.ac.jp/challenge/>

東海大学  
 チャレンジセンター  
 webサイトはこちら!





# チャレンジ プロジェクトに 挑戦しよう!

2018年度チャレンジプロジェクト  
**メンバー募集中!**

チャレンジプロジェクトは、学生が提案する企画に、  
学部・学科・学年・キャンパスの枠を超えた仲間を集め、1年間を通して活動するものです。  
復興支援からものづくり、地域活性まで、社会に貢献することを目的に多くの分野で活躍中。  
教室の中では体験できない感動や刺激を、仲間と一緒に分かち合いませんか。

**説明会** ▶ **4月5日(木)** 8号館3F 17:15~  
(湘南校舎)

6日(金) 9日(月) 10日(火) 11日(水) 8号館3F 17:15~

10日(火) 11日(水) 19号館 カフェラウンジ 17:15~

※湘南校舎以外の各校舎での説明会日程は、各校舎におけるチャレンジセンターの掲示をご覧ください。

# 社会に生かせる 4つの力を身につけよう

チャレンジセンターでは、大学時代にしかできないさまざまな経験を通じて、社会に必要とされる4つの力を育みます。

## 自ら考える力

常に未来を見据え、自ら取り組むべき課題を探求する力  
学習力  
思考力  
探究力

## 挑み力

困難かつ大きな課題に勇気を持って挑戦する力  
問題発見力  
構想力  
プランニング力

## 集い力

多様な人々の力を集結する力  
コミュニケーション力  
関係構築力  
アイデンティティの獲得

## 成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力  
工程管理力  
実行と継続力  
分析と修正力

未来の自分を切り開く



4つの力を象徴するキャラクター「リッキー」

# 4つの力を身につける 2018年度チャレンジプロジェクト一覧

- 01 病院ボランティアプロジェクト 病棟活動でのボランティアスキルを高め、患者さんと接したい 湘南
- 02 スポーツ社会貢献プロジェクト スポーツによる「繋がり」を社会に広げます 湘南
- 03 サイエンスコミュニケーター 理科離れを防ぐため子どもたちに科学の楽しさを伝えたい! 湘南
- 04 キャンパスストリートプロジェクト 大学周辺地域の住民と学生の円滑なコミュニケーションを図ります 湘南
- 05 Tokai Formula Club 自作レーシングカーで全日本学生フォーミュラ大会総合優勝を目指します! 湘南
- 06 ライトパワープロジェクト ソーラーカー・人力飛行機・電気自動車のものづくりの楽しさを伝えたい 湘南
- 07 学生ロケットプロジェクト より効率的なロケット開発のための組織づくりをします 湘南
- 08 Tokai International Communication Club 国や文化、個人などの違いを知り実感してもらった人数のべ400人。さらに増やしていきたい 湘南
- 09 3.11生活復興支援プロジェクト 被災地の復興段階に合った支援を考えます 湘南
- 10 DAN DAN DANCE&SPORTプロジェクト 身体表現パフォーマンスの公演をつくりあげます! 湘南
- 11 Beijo Me Liga 外国籍の子どもたちと地域の人が触れ合う場をつくりたい! 湘南
- 12 熊本復興支援プロジェクト 日本に住むすべての人に熊本の被災地の現状を知って欲しい 湘南 阿蘇・熊本
- 13 Tokai Dream Space Team 協賛企業とともに産学連携プロジェクトを展開 湘南
- 14 Takanawa共育プロジェクト 地域貢献を通じて大学と地域を一本化します 高輪
- 15 先端技術コミュニティACOT 目標はETロボコンで優勝! VRなどの先端技術を社会貢献に繋げます 阿蘇・熊本
- 16 メカトロマイスタープロジェクト ソーラーカーレース、レスキューロボットコンテストに上位入賞したい 阿蘇・熊本
- 17 阿蘇援農コミュニティプロジェクト 農業についての理解を深めるために農作業をお手伝いします 阿蘇・熊本
- 18 阿蘇は箱舟プロジェクト 希少な動植物が棲んでいる阿蘇の自然を守ります 阿蘇・熊本
- 19 あにまるれすきゅープロジェクト 殺処分される犬や猫を少しでも減らしたい 阿蘇・熊本
- 20 札幌ボランティアプロジェクト 除雪ボランティアを中心に幅広い分野のボランティアで地域に貢献します 札幌

湘南、高輪、阿蘇・熊本、札幌の記載は、メンバーが在籍する本学のキャンパス名です。



湘南

# 病院ボランティアプロジェクト

6bjj1133@mail.u-tokai.ac.jp @TokaiHospitalv

幼稚園での絵本読み聞かせ会

後藤 佑介さん

法学部 法律学科3年

入院患者さんの不安要素や閉塞感を緩和するため、さまざまな活動をしています。「病棟ボランティア活動」では本学医学部附属病院にて、食事介助など患者さんの身の回りのお世話をしています。そのほか、患者さんに季節感をお届けする「院内コンサート」、地域の方々を対象にした「医療セミナー」、子どもたちに病気や医療について伝える「絵本制作」といった企画を実施しています。

01



本学医学部附属病院にて食事介助



実験ショーを行っているところ

柳下 雄真さん

理学部 化学科3年

私たちサイエンスコミュニケーターは「科学の楽しさを通して人と人とのつながりをつくる」という目標をもとに活動しています。科学館やショッピングモールなどでイベントを行い、子どもに対し実験工作教室や実験ショーなどを行っています。実験をするのが好きな方・子どもと触れ合うのが好きな方はぜひサイエンスコミュニケーターにお越しください！

湘南

# サイエンスコミュニケーター

science.recruit@gmail.com @sc\_tokai



03

イベントにて子どもたちと一緒に実験



子どもの家イベントにて

相澤 さやかさん

体育学部 スポーツ・レジャーマネジメント学科3年

私たちは東海大学生や平塚市、秦野市を中心とした地域の幼児から高齢者まで幅広い年齢層に向けてスポーツイベントを提供しています。スポーツが持つ可能性や、楽しさを伝えるために参加者のニーズに合わせて工夫を凝らした企画を一から考え、運営を行っています。スポーツ社会貢献プロジェクトでこのような貴重な経験を私たちと一緒にしてみませんか？

02

東海スポーツDAYにて参加者との集合

湘南

# スポーツ社会貢献プロジェクト

think.sport.tokai@gmail.com @dekacharesports @sport.tokai



Tokai音食WEEK

泰江 有人さん

法学部 法律学科3年

私たちは地域の方々と一緒に、地域と学生の交流が深まるようなイベントの企画・運営を行っています。また、近隣の幼稚園への訪問活動や、障がい者自立支援を目的としたさまざまな活動も行っていきます。地域の方々との交流からこの街を知るきっかけの場が生まれることを目指して日々活動し、この街の魅力を発信しています！地域のことをたくさん知ることができ、毎日和気あいあいと楽しく活動しています！

04

クリスマスU-night

湘南

# キャンパスストリートプロジェクト

info.campusstreet@gmail.com @cap\_tu @c.a.p.tokai



05

湘南

全日本学生フォーミュラ大会の走行時

# Tokai Formula Club

tokai.formula@gmail.com @tokai.formula.club http://formula.shn.u-tokai.ac.jp

月村 雄太さん

工学部 動力機械工学科3年

学生フォーミュラカーという1台の小型レーシングカーを企画から設計製作し、ドライバーの育成もすべて学生たちの手で行うプロジェクトです。製作したフォーミュラカーは毎年9月に開催される全日本学生フォーミュラ大会に出場させ、マシン性能や、開発プロセスを競い合います。エンジニアだけでなく、広報担当やチームマネージャーも募集しています！大学生のときでしか経験できないことを一緒にやりませんか？



パーツの製作も学生の手で行います



07

湘南

能代宇宙イベントでの打上げ

# 学生ロケットプロジェクト

@Tokai\_SRP @tokai\_srp



建学祭での展示

根子 隆誠さん

工学部 航空宇宙学科  
航空宇宙学専攻4年

私たちは宇宙まで届くロケットの開発を目標に日々ロケット活動を行っています。ロケットを上げるために必要になるプロセスを学生の手で行うことでものづくりに必要な技術だけでなく、開発に必要なコミュニケーションやマネジメントの経験も得ることができます。また、自分たちの活動をより多くの人に知ってもらうためにイベントを企画したり展示を行ったりと広報活動にも力を入れています。



06

World Solar Challenge 2017

長田 達也さん

工学部 電気電子工学科3年

人力飛行機チーム、ソーラーカーチーム、電気自動車チームの3チームに分かれて活動しています。車体・機体の設計・制作から組織マネジメントまでのすべてを学生主体で行います。プロジェクトとしては最大規模で、各大会で世界一や日本一になることを目標に活動を展開し、学生生活で「新しいことにチャレンジしたい人」におすすめて。大学周辺地域の子どもたちを対象に、エコロジーやものづくりの楽しさを伝える社会貢献活動も行っています。



テストフライト

湘南

# ライトパワープロジェクト

人力飛行機チーム @TUMPAbirdman https://twitter.com/tumpabirdman/ @TUMPA.birdman https://www.facebook.com/tumpa.birdman/  
ソーラーカーチーム @tokaichallenger https://twitter.com/tokaichallenger @tokaisolarcar https://www.facebook.com/tokaisolarcar  
http://deka.challe.u-tokai.ac.jp//lp/



08

湘南

# Tokai International Communication Club

東海大学チャレンジセンター  
TICC-172290966217336/  
https://www.facebook.com/  
http://deka.challe.u-tokai.ac.jp/ticc/



小学生の子どもたちを対象とした異文化理解ワークショップ

留学生と日本人の交流を目的としたスポーツ大会

藤原 虎之輔さん

文学部 アメリカ文学科2年

私たちTokai International Communication Club (通称TICC)は、「多文化共生社会の実現」を目指し、地域の方々や留学生に向けて活動を行う国際系ボランティアプロジェクトです。外国につながる子どもたちへの学習支援をはじめ、子どもたちに向けた異文化理解ワークショップや国際問題について考えるシンポジウム、また留学生と交流できるイベントの企画・開催を主に行っています！

湘南

# 3.11生活復興支援プロジェクト

lifecare\_3.11@live.jp @311\_lifecare

@lifecare3.11 https://www.facebook.com/lifecare3.11



宮城県石巻市相川・小指地区 住民の方と町の復興について話し合い

杉山 愛さん

政治経済学部 経営学科3年

毎月の調査や長期休みに活動拠点のある宮城県と岩手県に行き、住民の方とともに町の復興について考え、それぞれの地域に合った復興のサポートをしています。また、関東では被災地の現状を伝える活動なども行っています。日本では今、熊本地震や九州豪雨など多くの自然災害がさまざまな場所で起きています。東日本大震災発生からも7年が経ちましたが、被災地のためにできることはまだまだたくさんあります。私たちと住民の方とともに震災復興について考えてみませんか。



岩手県大船渡市泊地区 「結の道」という遊歩道の整備



湘南

マルチカルチャーキャンプでの巨大絵製作

# Beijo Me Liga

tbeijomeliga.u.tokai@gmail.com  
@beijoss.kisss https://www.facebook.com/beijoss.kisss/  
@BML\_Brazil https://twitter.com/BML\_Brazil  
http://instagram.com/beijomeliga\_tokai



ユネスコセミナー

山中 大輝さん

工学部 建築学科2年

私たちは日本に住む外国籍の子どもを対象に活動しています。彼らは母国と異なる文化や言語で日本の生活に馴染めていないのが現状です。「国籍にとらわれず、「ひとりの人間」としてお互いがつながれたら」と考え、交流の場を設ける活動をしています。主にブラジルなどのラテンアメリカの国々にルーツを持つ子どもたちと日本人との壁をなくすために、ブラジル人学校訪問などを積極的に行っています。

林 瑞葵さん

教養学部 人間環境学科 社会環境課程3年

身体表現を通して「する(踊る)」「観る」「支える」ことの楽しさを広めることを目的に活動しています。公演やワークショップなど活動に参加したすべての人が「楽しい」を共有できるイベントを企画・運営し、他団体や地域とのつながりを形成しています。ぜひあなたも私たちと一緒に素晴らしいステージを創り上げましょう。



『Tokyo2020学園祭』でのパフォーマンスバトルでベストパフォーマンス賞を受賞



毎年行っている本公演の様子です。さまざまな団体とともに公演を創り上げます

湘南

# DAN DAN DANCE&SPORTプロジェクト

dandandance18@gmail.com @dance\_sports

村瀬 杏奈さん

教養学部 人間環境学科 社会環境課程3年

私たちは熊本地震の復興支援活動や地域防災活動を行っています。被災地での活動では仮設住宅で暮らす方々との交流や農家さんのお手伝いを行う活動、湘南キャンパスでの活動では被災地の現状を伝えるといった防災啓発活動を行っております。震災から2年が経ちますがまだ復興は進んでいません。活動を通して震災の恐ろしさを知り、防災について学ぶことで災害時自ら率先して動けるよう努めています。



テクノ仮設団地で子どもと一緒に花の手入れ

湘南 阿蘇・熊本

# 熊本復興支援プロジェクト

tkumafuku.tokai@gmail.com @kumafuku.tokai @kumafuku\_Tokai



東無田地区で農業支援活動の様子

# Tokai Dream Space Team

tdst.official@gmail.com



# 13

世界一行きたい科学広場への出展の様子



ペットボトルロケット打ち上げイベントの様子

牧 遼平さん

工学部 航空宇宙学科 航空宇宙学専攻3年

今の日本企業は、新しいことに挑戦し、かつ失敗しない人材、すなわち「挑戦と高信頼性を両立した人材」を強く求めています。我々は日々このような人材になるために協賛企業とともに活動している産学連携プロジェクトです。本年度は小型高性能マイコンを搭載したインテリジェント・ペットボトルロケットの競技会を実施します。私たちと一緒に、楽しいイベントを主催しながら、企業が求める人材になってみませんか。



阿蘇・熊本

ETロボコン2017九州北地区大会プライマリークラスの表彰

# 先端技術コミュニティ ACOT

tokai.acot@gmail.com @challenge\_acot @tokai.acot

# 15



小学生対象のクリスマスイベントの様子

林田 悠里さん

基盤工学部 電気電子情報工学科3年

プログラミングやVR開発、ドローン操縦等の先端技術を身につけるとともに、それらを基に小学生対象のものづくり教室やプログラミング教室を行い地域に先端技術を発信しています。さらに、学内外からドローン空撮の依頼を受け、空撮を行い動画の編集をし、提供を行っています。また、毎年ETロボコンに参加しており、例年好成績を残しています。天体観測等の活動も行っており、多岐にわたる活動ができるプロジェクトです。

# Takanawa 共育プロジェクト

Takanawa共育プロジェクト-823295874416226/ https://ja-jp.facebook.com/

HP http://deka.challe.u-tokai.ac.jp/tkp/



# 14

TKPで設置した高輪校舎のイルミネーション

崎山 奨さん

情報通信学部 経営システム工学科4年

Takanawa共育プロジェクトは、高輪校舎を拠点に活動する地域貢献を目的としたボランティア団体です。地域で行われるイベントの手伝いや運営を行い、三社祭や高輪の神輿担ぎに参加し、やりがいを感じられる貴重な経験をたくさん積むことができます。冬には高輪校舎をイルミネーションで飾り付けるような楽しいイベントも充実しています。私たちと一緒に楽しみながら地域を盛り上げていきましょう！



TKP主催の神輿担ぎ



# 16

ロボットチーム大会

新山 友宏さん

基盤工学部 電気電子情報工学科3年

メカトロマイスタープロジェクトは、ロボットチームとソーラーカーチームの2部門に分かれています。ロボットチームは災害時の救助活動を題材としたコンテスト「ロボコン」での本戦出場、ソーラーカーチームでは世界最大規模のソーラーカーレース「鈴鹿大会」でのクラス入賞を目標に、日々活動しています。マシンの設計・開発を通して、ものづくりの楽しさ、奥深さを体験してみませんか？

# メカトロマイスタープロジェクト

mechatromeister@gmail.com @ktokai.solarcar https://www.facebook.com/ktokai.solarcar ソーラーカーチーム大会



阿蘇・熊本

# 阿蘇援農コミュニティープロジェクト

@AECPTOKAI  
https://twitter.com/AECP\_TOKAI



# 17

玉ねぎを収穫している様子



いちごのランナー切り(定植前準備)

堀江 美貴さん

農学部 応用植物科学科2年

私たちは阿蘇地域を中心に人手不足に悩む農家さんの日常作業のお手伝いをしています。作業内容は定植や収穫などの直接作物に関わることや剪定・除草などの重要な管理作業、またハウス建設のお手伝いをすることもあります。大学の講義では学ぶことのできない初めてのことにチャレンジさせてもらっています。農家さんとの交流を通して実践的な農業技術や知識を体得しています。

阿蘇・熊本

# あにまるれすきゅープロジェクト

@aniresTOKAI



# 19

新田 裕之さん

農学部 応用植物科学科3年

あにまるれすきゅープロジェクトでは、主に保健所で保護された動物の新しい飼い主を見つける譲渡会や動物園や地域のイベントに出向いてペットの迷子札などについての啓発活動等さまざまな活動をしています。動物が好きな人にはびったりのプロジェクトです。在籍しているメンバーの中には応用動物科学科だけでなく、他学科の人もいます。ぜひ一緒に活動していきましょう。

◀動物愛護センターが熊本市動植物園で犬猫のお話や迷子札の作成を行うとのことで、そのお手伝いをしました。動物愛護と管理についての啓発活動もあにまるれすきゅープロジェクトの大事な活動の一つです。



▲譲渡会にて、いつもお世話になっているフィリアさん(動物愛護団体)の譲渡会にお散歩や準備などのお手伝いをしに行きました。フィリアさんのやっているアメブロでも取り上げていただきました。

阿蘇・熊本

# 阿蘇は箱舟プロジェクト

@asohahakobune



5月に行われたパトロール活動の様子



# 18

6月4日に行った除草活動の集合写真

古賀 存さん

農学研究科 農学専攻1年

阿蘇を守る。継いでいく。熊本地震の影響を受けたのは人間だけではなく。独自の生態系を持つ阿蘇地域に生息する希少動植物は震災によって生息場所を失い、減少しています。私たちは、阿蘇の希少動植物の絶滅を防ぐために、生息場所の保全や不法採集防止のためのパトロールを行っています。また、阿蘇の希少動植物をデータ化し、HPに掲載することで多くの人に阿蘇の自然を知ってもらいたいと考えています。

札幌

# 札幌ボランティアプロジェクト

@Tokai\_jyosetu



# 20

除雪活動



除雪出陣式

和田 涼平さん

生物学部 海洋生物科学科2年

私たち東海大学札幌ボランティアプロジェクトでは、冬季に高齢者宅の除雪を主として活動しています、今年度の目標としては活動の活性化、及び知名度の上昇、企業との協力を目指しさまざまなイベントの参加です。それには新規メンバーの力が不可欠です！また、このような活動は今後有益な経験値となるでしょう！自分のため、他人のため、晴れての大学生、新しい一歩を一緒に踏み出しましょう。



少人数でチャレンジする

# ユニークプロジェクト

10名以上のグループによって構成するユニークな企画内容のプロジェクトです。

2018年度ユニークプロジェクト

募集期間 ▶ 2018年4月1日(日)～4月21日(土)

詳しくはチャレンジセンターのホームページをご覧ください。



きらきら実験教室



ポリヘドロン工作隊



よよさんぼ



地域連携プロジェクト

## 2017年度に実施されたユニークプロジェクト

### 湘南キャンパス

**きらきら実験教室**  
マイクロコンピュータを用いた電子工作キット作りを通して、ものづくりの楽しさと同時に理科に対する興味・関心を持ってもらうことを目指す。

### Egyptian Project

学内にある古代エジプト及び中近東コレクションの文化財の調査・記録・修復・保存を行う。また、文化財をデジタルアーカイブ化し、インターネットでの文化財の普及も行っていく。

### Tokai Dream Space Team

マイコンボードを用いて高校生・大学生・社会人と共に宇宙開発を模擬したものづくり体験イベントを実施する。多くの企業と連携してイベント準備を進めることで社会人基礎力も身につけていく。

### ポリヘドロン工作隊

多面体工作を通して、幾何学や数学、構造科学などさまざまな分野の興味関心を引き出し、参加者の創造力を養う。

### 東海魅力宅配便

プロジェクト学生の、大学生活での自分たちの経験談や学びを他学生へと発信・共有していくことで東海大学の魅力を知ってもらう。

### Sunflower

カンボジアの子どもたちと遊びを通して交流し、現地の初等教育の現状や必要物資の調査を行う。将来的には現地に学校を建設させたいと考えている。

### Chapture The Flag in Tokai(CTFT)

サイバー犯罪やサイバー攻撃の問題に対応するため、サイバー攻撃に関連するセキュリティ技術の習得および習得した技術を高校生などの若者へ積極的に普及させる。

### Connect

秦野市内の子ども・若者達の自主的・自発的な学びを実現する環境をつくり、「子ども・若者が社会参加を通じて、人と人、人と社会とつながり、自分らしく生きていく」ことを支援する。



ワンダフル・マリンアニマルズ

### 代々木キャンパス

**よよさんぼ**  
地域イベントへの積極的参加、「渋谷みつばちプロジェクト」といった、学生や地域住民の参加型イベント企画・実施を行う。

### 高輪キャンパス

**ロボP**  
ETロボコンやプログラミングコンテストなどで技術力向上を目指しつつ、楽しく情報通信技術を学んでもらえるようなイベントを開催する。

### 清水キャンパス

**ワンダフル・マリンアニマルズ**  
生物型ロボットを製作し、講演や出展を積極的に行っていく。海洋生物の生態を知ってもらい、海洋生物に対する興味を持ってもらう。

### 三保活性化プロジェクト

三保半島を中心として地域活性化に貢献し、地域の人たちとの交流を盛んに行う。さまざまな年代の方々と交流することで、礼儀や協力することの大切さを学び、コミュニケーション能力の向上を図る。

### NT(Near threatened)回復プロジェクト

サンゴに関する調査海域に生息する群体の生息位置、サンゴ同士の位置関係、サイズ、種類確認等の調査を実施する。

### 商品開発プロジェクト

清水区が日本一の水揚げ量を誇るサクラエビやマグロ類を用いて、清水区内の企業と共同で商品の開発を行うことで地産地消・地域活性化につなげることを目指す。



三保活性化プロジェクト

### 清水・湘南キャンパス

**気仙沼シャークプロジェクト**  
日本一の漁獲量を誇る気仙沼のサメを、商品としての付加価値をつけ、気仙沼に暮らす人たちの生活再建支援を検討する。

### 阿蘇・熊本キャンパス

**Action marketing プロジェクト**  
ビジネス&マーケティングの基礎として、議題に対する若者の視線にたったマーケティングを行い、議題を解決していく。九州キャンパスのチャレンジプロジェクト等と共同で地域貢献活動を実施する。

### 阿蘇復興への道

～未来へつなげ東海大学生の希望～  
熊本地震で甚大な被害を受けた阿蘇キャンパスと周辺の学生村の繋がりを守るために、季節ごとのイベントを実施したり、阿蘇の観光PR動画を作成することで地域活性化を促す。

### 動植物園プロジェクト

熊本市動植物園および大牟田市動物園において、わかりやすい案内板の設置やボランティアガイドを実施することで若者を動物園に呼び戻し、環境保護に対する意識を高める活動を実施する。

### 札幌キャンパス

### 地域連携プロジェクト

地域交信カフェ「Three Cafe」の運営、地域情報誌「SAN+」の制作、「全国まちづくりカレッジ」をはじめとする活動報告・会議など行う。

### 札幌ピオトープをつくらう会

グラウンドや地域の土地の崩落の防止のために融雪水の流出阻止、エゾサンショウウオの産卵・孵化促進などのために、敷地内のピオトープを活用する。

4つのサポートであなたの成長を全面的にサポートします！

# プロジェクト支援

プロジェクトの質を高め、より大きな目標を成し遂げられるように、人・資金・施設など、さまざまな面で、きめ細かくプロジェクト活動をバックアップする体制を整えています。

サポート

## 1 教職員からのサポート



活動企画についてアドバイスをするコーディネーター

### ■プロジェクトコーディネーター(職員)

プロジェクト全体の進行状況を把握し、活動全般の相談役や提出書類の作成指導をさまざまな部署の職員が行っています。また、予算管理・工程管理に関する指導や、活動が困難な状況の時に円滑に進むよう学生を元気づける「縁の下の力持ち」的な役割のほか、プロジェクトとチャレンジセンターおよび大学内外の機関との連携・協力を図っています。

### ■プロジェクトアドバイザー(教員)

専門的知識または技能を持った教員を、学生からの要望によりプロジェクトに配置します。主な役割として、プロジェクト活動に対して専門的な立場から指導・助言を行います。プロジェクトの活動が、より質が高く大きなチャレンジとなるためには、プロジェクトアドバイザーの豊富な知識と経験に裏づけされた指導が必要です。

サポート

## 2 支援金

企画の内容・規模・過去の実績などに応じて、プロジェクト実行に必要な支援金を提供。資金の面でも安心して活動に取り組むことができます。

チャレンジプロジェクト

ユニークプロジェクト

支援金上限 **200万円**

支援金上限 **50万円**

※特別申請により、企画に応じて最大1,000万円

サポート

## 3 活動スペース

ものづくり系の活動拠点として、直径33mの創造空間「ものづくり館」。大人数で利用できるミーティングルームも用意しています。



ミーティングルーム



ものづくり館



ものづくり館にて車体の工作

サポート

## 4 教育プログラム

### ■社会がかかえる問題の解決に向けて、専門を生かすための土台をつくる

本学は、リベラルアーツ教育として、基礎教養科目と発展教養科目を必須科目とし、専門を学ぶ上での基礎を築きます。社会的実践力副専攻では、社会や時代の変化に伴う課題を見極め、課題解決のために行動することの重要性を学びます。

東海大学が育成する4つの力＝「社会的実践力」

自ら考える力

集い力

挑み力

成し遂げ力

学部学科・センター等の教育

### 発展教養科目

シティズンシップ、ボランティア、地域理解

### 専門教育

### 社会的実践力副専攻

プロジェクト実践、コーピング実践、パブリックスキル、パブリック・ワーク

学生生活における学び

### チャレンジプロジェクト

個々学生による活動  
クラブ・サークル活動  
インターンシップ 等

### 東海大学PA型教育

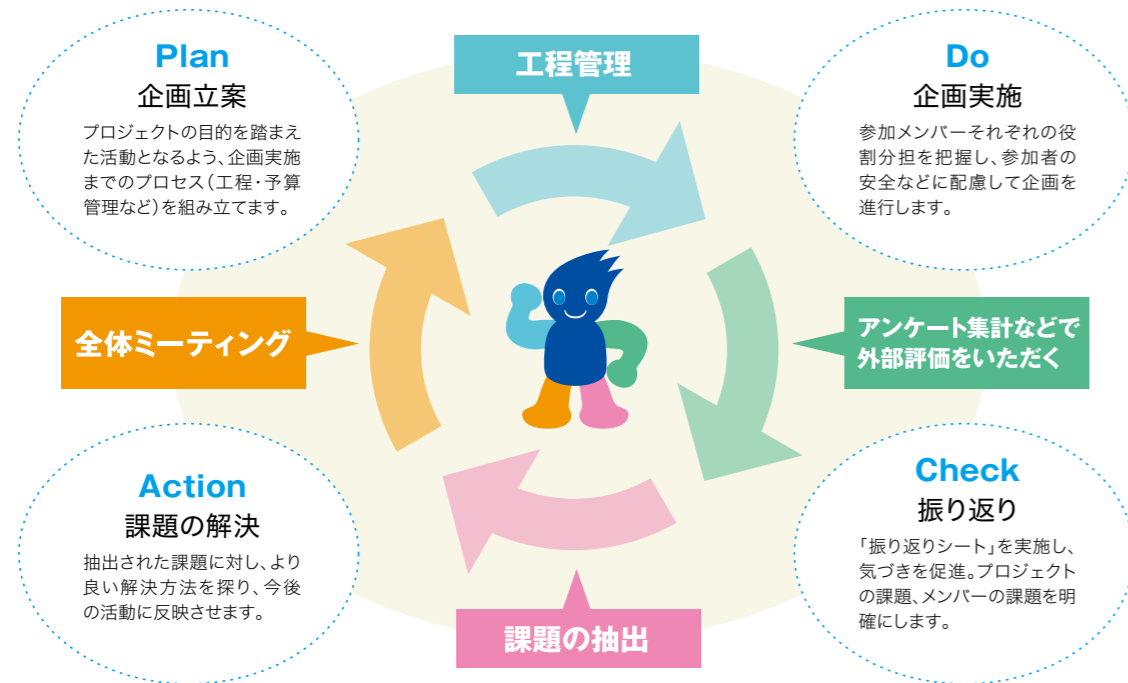
Public Achievement(PA)型教育とは、学生に社会の構成員であるという自覚を促し、社会の課題解決に関わろうとする行動力を育成する実践的教育。

活動を通して、4つの力を確実に身につけます！

# プロジェクトの流れ

「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を確実に自分の力にするために、1年間で数回にわたりプロジェクトを振り返るための場が用意されています。

## 成長のサイクル



## 1年間の流れ

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>企画書提出</li> <li>第1回チャレンジプロジェクト協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算書・メンバー表提出</li> <li>第2回チャレンジプロジェクト協議会</li> <li>チャレンジプロジェクト支援金決定</li> <li>広報講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回チャレンジプロジェクト協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジセンターセミナー</li> <li>第4回チャレンジプロジェクト協議会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度チャレンジプロジェクト応募説明会</li> <li>第5回チャレンジプロジェクト協議会</li> </ul>
メンバー募集説明会	オリエンテーション	広報講習会	プロジェクト協議会		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジプロジェクト中間報告会</li> <li>第6回チャレンジプロジェクト協議会</li> <li>中間報告書・中間決算書提出</li> <li>チャレンジプロジェクト2019年度計画書提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建学祭での活動発表</li> <li>ホームカミングデーでの展示</li> <li>第7回チャレンジプロジェクト協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジセンターセミナー</li> <li>第8回チャレンジプロジェクト協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジプロジェクト採択発表</li> <li>第9回チャレンジプロジェクト協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジプロジェクト最終報告会</li> <li>リーダー研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終報告書・年度決算書提出</li> <li>修了認定書授与</li> </ul>
中間報告会	チャレンジセンターセミナー		最終報告会	リーダー研修会	

## 地域の農家の方々と関わりながらコミュニケーションの大切さを学んだ日々。



### 井上 雅妃さん

熊本県酪農業協同組合連合会(らくのうマザーズ)勤務  
農学部応用動物科学科2015年度卒業  
2014年度「阿蘇援農コミュニティプロジェクト」プロジェクトリーダー

酪農の家で育ち、子どもの頃から地域の酪農業を支援する仕事に就きたいと考えていた私。念願かなって現在の職場に就職することができました。今は主に家畜の牛のエサを販売する仕事に従事しており、牛の状態を見ながら適切なエサについてアドバイスしたり、酪農経営全般に関するご相談に応じています。

東海大学農学部でも主に牛について学んでいましたが、農業全体への視野を広げるため、酪農以外の農業に携わることができる「阿蘇援農コミュニティプロジェクト」に参加しました。

真夏や真冬の農作業はたいへん厳しいものでしたが、多くの農家の皆さんとお話の中で農業の素晴らしさをあらためて実感する日々を過ごしました。私自身はプロジェクトリーダーとして、仲間やご協力いただいている農家との関わりの中で、コミュニケーションの大切さを痛感し、その経験は現在の仕事においても大いに役立っています。



## 卒業生からのメッセージ

Message from Graduates

自ら考える力・集い力・挑み力・成し遂げ力を身につけ、  
社会で活躍する先輩たち

## “世界”に挑戦することでへこたれない心を身につけることができました。

入学してすぐに「Tokai Formula Club」の先輩の話を聞いて「ここは楽しそう!」と思い、参加しました。実際、楽しいことも多かったのですが、今振り返るとつらかったことや悔しかったことなども思い出されてきます。

私がプロジェクトリーダーを務めた2014年度は、国内の大会のほか、7年ぶりに海外大会にも挑みました。いずれも目標に「優勝」を掲げていたのですが、結果は……。自分たちのすべてを注ぎ込んだ達成感はありません。しかし多大なご支援をいただいた企業スポンサーや7年前に海外大会に参加した先輩方の期待に応えられなかったことは、やはり悔しかったです。

最近、職場で上司から「きみはへこたれない。メンタルが強いね」と言



われました。おそらくそれは「Tokai Formula Club」の活動で身についた強さではないかと自分では感じています。後輩の皆さんも積極的にプロジェクト活動に参加して、中身の濃い大学生活を送ってほしいと思います。



### 奈良 祥太郎さん

日産自動車株式会社勤務  
工学部動力機械工学科2015年度卒業  
2014年度「Tokai Formula Club」プロジェクトリーダー